

平成30年1月30日
愛媛大学

附属高校生が課題研究を発表します！ 「SGH報告会」及び「課題研究代表者発表会」

愛媛大学附属高等学校は、文部科学省より平成27年度「スーパーグローバルハイスクール(SGH)」の指定を受け、「伊豫の学びから世界の学びへ」を研究テーマとして取り組んでおります。この取り組みは、SGH企画評価会議による昨年9月末に公表された中間評価において最も高い評価(全国56校のうち4校)を受けました。このたび、別紙要領で「SGH報告会」及び「課題研究代表者発表会」を開催いたします。

つきましては、取材くださいますようお願いいたします。

記

「SGH報告会」

日時：平成30年2月2日(金) 13:30~16:00

「地域の産業」代表者発表(1年生)：14:30~15:00

「異文化理解」代表者発表(2年生)：15:00~15:30

「トビタテ!留学JAPAN」発表(2年生)：15:30~15:45

会場：愛媛大学附属高等学校

駐車場：有

「課題研究代表者発表会」

日時：平成30年2月3日(土) 9:30~12:30

会場：愛媛大学城北キャンパス グリーンホール

駐車場：無(公共交通機関をご利用ください)

※伊予鉄道市内電車環状線「赤十字病院前」下車、北へ徒歩3分

※報道機関の方で、車で取材に来られる場合は、正門守衛室で手続きを行い、
来客用駐車場を利用してください

※送付資料3枚(本紙を含む)

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学附属高等学校

八木 昌生

TEL：089-946-9911

Mail：yagi.masao.my@ehime-u.ac.jp

○スケジュール

「SGH報告会」

1. 日時 平成30年2月2日(金) 13:30~16:00
2. 会場 愛媛大学附属高等学校
3. 内容
 - (1) 13:00~13:30 受付
 - (2) 13:30~13:45 開会式
 - (3) 13:45~14:00 SGH概要説明
 - (4) 14:00~14:15
「課題研究」・「リベラル・アーツ」概要説明
 - (5) 14:15~14:30 休憩
 - (6) 14:30~15:00 「地域の産業」代表者発表
 - (7) 15:00~15:30 「異文化理解」代表者発表
 - (8) 15:30~15:45 「トビタテ!留学JAPAN」発表
 - (9) 15:45~16:00 閉会式

「課題研究代表者発表会」

1. 日時 平成30年2月3日(土) 9:30~12:30
2. 会場 愛媛大学城北キャンパス グリーンホール
3. 内容
 - (1) 9:00~9:30 受付
 - (2) 9:30~9:45 開会式
 - (3) 9:45~10:45 発表
 - ①法文学部
 - ②教育学部
 - ③社会共創学部
 - (4) 10:45~11:00 休憩
 - (5) 11:00~12:20 発表
 - ④理学部
 - ⑤医学部
 - ⑥工学部
 - ⑦農学部
 - (6) 12:20~12:30 閉会式

○代表者発表について

- (1) 「地域の産業」代表者発表 (1年生:2月2日(金) 14:30~15:00)

「地域の産業」は、愛媛の基盤産業である農業やその生産物の加工・流通の学習を通して、農業の六次産業化や国際化の現状を理解し、地域の課題を発見・探求する力を身に付けさせることを目指しています。4月より、実験や実習を通して地域理解を深めていきながら、地域の課題解決に向けて取り組んできました。本発表会では、各グループの代表チームが発表を行います。

- (2) 「異文化理解」代表者発表 (2年生:2月2日(金) 15:00~15:30)

「異文化理解」は、1年次の学習を基礎とし、協定校の視点から世界を見ることによって、地域の課題と世界の課題との繋がりを発見し、協定校と協力して世界の人々と積極的に交流し、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うことを目指しています。本発表では、アメリカ研修およびルーマニア研修に参加したグループが代表で発表を行います。

- (3) 「トビタテ!留学JAPAN」発表 (2年生:2月2日(金) 15:30~15:45)

イギリスで約1か月の研修をした生徒によるプロジェクト発表を行います。

- (4) 課題研究代表者発表会 (3年生:2月3日(土) 9:30~12:30)

本校の目指す課題研究は、「生徒がグループで共通テーマを追究するのではなく、各自がその進路を視野に入れつつ自分の興味関心を深く追究する」ことをその特徴としています。個別的な課題研究を重視するのは、グローバル社会に対応するために、まず自ら主体的に考え、その上で他者の声に耳を傾け多様性を許容する資質を涵養することが重要であると考えます。本発表会では、愛媛大学教員(約50名)の協力を得て実施した115研究の中から、選抜された代表者7名による発表を行います。

○SGHの中間評価の結果について

文部科学省では、急速にグローバル化が加速する現状を踏まえ、社会課題に対する関心と深い教養に加え、コミュニケーション能力、問題解決能力等の国際的素養を身に付け、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーを、国際化を進める国内の大学のほか、企業、国際機関等と連携して、様々な国際舞台で活躍できる人材の育成に取り組む高等学校等を「スーパーグローバルハイスクール（以下「SGH」という）」に指定し、質の高いカリキュラムの開発・実践やその体制整備を進めています。

平成 27 年度に SGH に指定された 56 校に対して、SGH 企画評価会議協力者による中間評価結果が昨年 9 月末に公表されました。この SGH の中間評価は、指定 3 年目の指定校について、SGH 企画評価会議協力者（外部の有識者）による 2 年目までの研究開発の進捗状況等に関する評価を行い、各指定校が研究開発等の内容を見直す機会とし、事業の効率的な実施を図ることを目的とするものです。